

本映像プログラムは、webで視聴することができます。

<http://pharma-navi.bayer.jp/stivarga/patient/>



スチバーガ治療を行う患者さんとそのご家族へ

てあしそうこうぐん
手足症候群の
よぼうたいしょ
予防と対処

連絡先

映像プログラムとあわせてご覧ください。

監修

独立行政法人 国立がん研究センター中央病院
皮膚腫瘍科 科長 山崎直也先生

弊社製品情報サイト(<http://pharma-navi.bayer.jp/stivarga/patient/>)をご参考ください



Bayer

資料請求先

バイエル薬品株式会社
大阪市北区梅田2-4-9 〒530-0001
<http://byl.bayer.co.jp/>

2019年7月作成
資材番号 STI190901
PP-STI-JP-0375-01-07

て あし しょう こう ぐん 手足症候群とは

スチバーガを服用すると、手足症候群と呼ばれる副作用があらわれることが報告されています。

手足症候群は、いのちに関わる副作用ではあります。せんが、まれに日常生活に支障をきたすこともあります。場合によってはスチバーガ治療を続けることが困難になることがあります。

しかし、予防対策を継続したり、適切な処置を行うことでスチバーガの治療を続けることができます。



手足症候群があらわれやすい時期



スチバーガを
飲み始めてから
約2ヵ月間は
**とくに注意が
必要です**

手足症候群は、スチバーガを飲み始めてから2ヵ月以内に起こることが多く、とくにはじめの1,2週間に起こりやすいとされています。

そのため、はじめの2ヵ月間は、より注意深く、手や足の状態に気をつける必要があります。

手足の違和感がサインです

手足症候群の初期段階では、手のひらや足の裏の皮膚の一部に赤みが出てきたり、ピリピリまたはチクチクするといった違和感があらわれます。このような手足症候群の初期のサインを見逃さず、早期に適切な処置を行うことが大切です。

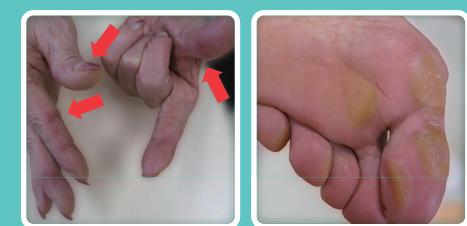
軽 度

- ・手のひら、足の裏などの加重部位に赤みがあらわれる
- ・手足にピリピリ、チクチクといった違和感
- ・痛みはなく、日常生活には影響しない



中等度

- ・皮膚が硬くなり、ひび割れることもある
- ・痛みがあらわれ、日常生活に支障が出る



重 度

- ・皮膚がさらに硬くなる
- ・ひび割れのほか、水ぶくれなどがみられる
- ・強い痛みのため、日常生活が困難になる



上記のような症状がないか、
1日1度は、よく手足を観察
しましょう。



毎日のセルフケアが、手足症候群の予防につながります。

ポイント

1 しっかりと保湿

- 手を洗った時、入浴後はすぐに保湿剤を塗る。
- 保湿剤は関節1つから2つ分を使用する。
- 保湿剤は指の間まできちんとやさしく塗り込む。
- 手足を洗った時以外にも、1日数回保湿剤を塗る。
- 寝る時は、保湿剤を塗った後に手袋・靴下をつけて、夜間の乾燥を防ぐ。



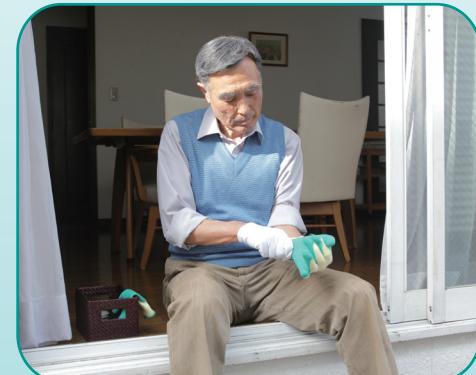
- ・手足を洗う場所には、すぐ目につくところに保湿剤を置いておきましょう。
- ・寒い時期は、保湿剤が硬くなることがあるので、両手で温めて柔らかくしてから塗りましょう。
- ・市販の保湿剤も使用できます。詳しくは、医師・看護師・薬剤師にご相談ください。

手足症候群を防ぐためには、「保湿」と「刺激除去」が重要です。以下のポイントをおぼえて、今日から実践しましょう。

ポイント

2 皮膚に刺激を与えない

- 皮膚を傷つけるので、軽石やかみそりは使わない。
- 皮膚を柔らかくする場合は、尿素やサリチル酸配合の保湿剤を使用する。
- 水を使う時は、保湿剤を塗り、木綿とゴムなどの手袋を二重につけて十分に保護する。
- 庭仕事などの作業の後は、手足をきれいに洗い、手足のチェックをしながら保湿剤を塗る。
- 入浴やシャワーは、ぬるめのお湯を使う。
(温度は40°C以下、時間は10分以内が目安)



- ・硬くなった皮膚やタコ・ウォノメは自分の判断で処置せず、医師・看護師・薬剤師に相談しましょう。
- ・汗をかきやすい季節は皮膚を清潔に保ち、手足を洗ったり、シャワーを浴びた後に保湿剤を塗るように心がけましょう。

ポイント

3 圧迫しない

- 外出時には、できるだけ圧迫の少ないサンダルや運動靴を履く。



テニスシューズ



サンダル



フラットシューズなど

- やむを得ず革靴やハイヒールを履く時は、柔らかい中敷(インナーソール)を使用する。



- 長時間の歩行やジョギングなどは足に負担をかけるので避ける。



長時間の歩行



ジョギング



長時間列に並ぶ

ポイント

4 手足の変化に注意

- ペンや箸が当たる部分、かかとなどは、角質化を起こしやすいのでよくチェックする。



ペンを持つとき



靴を履くとき



箸を持つとき



- 気になることがあれば、「服用ダイアリー」手帳のチェックリストに記入し、医師に伝えましょう。

